

万博国際交流プログラム

①実施概要

大阪・関西万博に多くの国が参加することを契機に、全国各地域において、子ども・若者等の地域住民と万博参加国の関係者が地方公共団体の事業を通じ継続的に国際交流していく枠組みを設ける。

具体的には、万博の理念等への理解を深めるための事前学習を含め、地域の住民等と交流相手国の万博関係者や出身者等とが継続的に交流していくため地方公共団体が交流相手国と行っていく事業に対し、支援を行う。

※ 参加自治体は、交流計画の提出・国の審査を経て、登録・公表される。

[交流タイプの例]

- ・万博前～会期中に相互往来等により相手国の文化、伝統芸能等を習得して、相手国のナショナルデーのイベントを共同実施する。
- ・万博前後に相互往来等を行って相手国の歴史や文化を理解するとともに、万博開催中に来日した相手国の万博関係者を地元へ招いて、講演会や住民との交流イベント等を開催する。

(実施主体) 地方公共団体

(実施場所) 会場内 (催事場などナショナルデーイベント会場等)

会場外 (各地方公共団体や交流相手国に所在する講演会場・交流施設その他施設等)

(実施期間) 2024年度～



②今後の実施方針

交流に関するモデル事業を実施し、交流内容及び支援の仕組みの検討を進める。

③予算

令和4年度補正予算額：214百万円の内数

令和5年度概算決定額：126百万円の内数

④工程表

